

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	現代の国語	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース 1年・衛生看護科
使用教科書	現代の国語（三省堂）		副教材等	普通：核心漢字 2500+語彙 1000（尚文） スポコ、衛看：漢字検定 5～2 級+頻出漢字 総合文字力（尚文）、国語必携ライトパー フェクト演習（尚文）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	文化 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 	定期考査 課題 小テスト 授業態度
	情報 「ネットが崩す公私の鏡」	・活版印刷術の成立以降における「著者」の存在への理解を通じて、情報メディアのあり方を考える。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈したり自分の考えを深めたりしている。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 	
	情報 『選べる社会』の難しさ	・「選べる社会」の出現がもたらした新たな問題について考察し、「選択に失敗した場合」について、具体的にどうするべきか、論述する。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 	
	社会 「共生社会で求められる『相対的よそ者』の視点」	・「相対的よそ者」とは誰のことか、自らに問いかける。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を理解している。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を関連付けながら内容を理解するとともに、自分の考えを深めている。 ・筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察しようとしている。 	

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法	
			a	b	c			
8 9 10	言語 「辞書は生きている」	・言葉への関心を深める。	○			・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を理解している。 ・筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切に論述しようとしている。	定期考査 課題 小テスト 授業態度	
	環境 「生物と無生物のあいだ」	・「生命」を意識した体験を振り返る。	○			・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。		
	言語 「アガルとノボル」 言語活動 オリジナル辞書を作ろう	・用例を検討して言葉の意味の違いを考え、最近使われ出した言葉や、使われ方が変化してきた言葉を集め、オリジナルの辞書を作る。	○			・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかを確かめて文章全体を整えたり、他者の助言を踏まえて自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。 ・読み手を意識した構成・展開を積極的に考えようとしている。		
11 12	社会 「大切な会話ーワールド・カフェへの招待」	・問題解決に必要な知恵と創造性を引き出す「会話の力」を認識する。	○			・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を理解している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・筆者が論じる問題を積極的に自分に引きつけて考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。		
	思想 『『見える文化』／『見えない文化』』	・「見えない文化」を意識することの重要性を理解し、異文化理解に欠かせない視点を獲得する。	○			・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。		
	思想 「コインは円形か」 言語活動 相互理解を深めるために、 今何が必要か考えよう	・レトリックの意味を理解し、視点を考えることの重要性を学び、相互理解を深めるために今何が必要か、意見文を書く。	○			・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。		
1 2 3	科学 「人がアンドロイドとして 魅る未来」 言語活動 調べたことをレポートに まとめてみよう	・アンドロイドの登場がもたらす新たな問題について考察し、科学技術の発展が、私たちや私たちの社会をどう変えるか調べ、レポートにまとめる。	○			・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを発表しようとしている。		定期考査 課題 小テスト 授業態度